

北海之光

1月号 北海道教区報

祝福されよ 主に信頼する人は
エレミヤ書 17章7節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12
日本聖公会北海道教区事務所
電話 011-717-8181
FAX 011-736-8377
E-mail:hikari@nshkk-hokkaido.jp
http://www.nshkk-hokkaido.jp
発行人 植松 誠

神の言葉の響き

道北分区協働
司祭 ヘレン 木村 夕子

歌には様々ありまして、古今東西バラエティが豊富。その中でも教会に集う私たちには、聖歌が最も親しみ深い歌です。祈りの言葉に節を付けたチャントを用いる事や、礼拝全体を歌う唱詠晩禱や歌ミサを行う習慣もあります。

歌うことについて考えてみましょう。神様からいただいた命の息吹を、おなかの底から頭のとっぺんに向けて出しながら声帯を震わせて鳴った声を口の中から頭部、そして身体に響かせます。頭部を中心に身体全体がスピーカーになるという訳です。しかも喉

の奥にある小さな声帯は一人にだけ与えられているもので、それぞれに個性があり世界中でその人にしか出せない唯一の声です。この声を使って音程や長さなどを変化させながら、言葉を伝えるのが歌です。

歌が言葉を伝える方法の一つであり、歌うのは伝えたい言葉を届けるためであるとすると、詩編が言う新しい歌とはどういうものでしょうか。神の言葉によって創造されたこの世界は、古い契約の時代においては限られた人だけに伝えられていた神の言

葉が、新しい契約の時代においてはキリストを通して弟子たちを始めすべての人に等しく神の言葉が伝えられるという、極めて革新的な事態に遭遇したのです。神は人々に伝えたくて仕方ない言葉(「愛」)のすべてを御子に託して世に遣わされました。御子の口から出る神の言葉は、命の息吹と声の振動と共にこの世界で響いていたのです。キリストの口から出る神の言葉の響きこそが、世界に与えられた新しい歌であると考えられます。その響きは弟子たちに伝わり、出会った人々に伝わり、病の人々、孤独な人々、深い悲しみを抱える人々にも伝わって行きました。イエスから出る神の言葉の響きに、多くの人々、特に神の言葉を知らぬ由もなかったごく普通の人たちの身体と心が振動していたのです。

キリストによって知らされた神の言葉は、神の愛を世界に伝えました。愛の言葉を得た人々は、神への感謝と讃美を伝えるための言葉を同時に得ることになったと言えるでしょう。つまり、神に向かつて歌う新しい歌、それは私たちから神にお伝えする言葉でもあると考えます。主の祈りは最たるもので、心の底から心を込めて祈る時も美しい旋律で歌う時も、神にお届けする尊い言葉の響きです。キリストによって神の言葉を知った私たちは、その同じ神の言葉を用いて一人一人の響きをもって神と交信することがゆるされていくのです。神が言葉によって私たちを愛され、私たちも言葉を用いて神を愛する。キリストが神と私たちの言葉を通じるようにしてくださった新しい時代の喜びを共に歌いましょう。

ハレルヤ 新しい歌を 主に向かって歌え

第二世紀宣教 二〇二二年

詩編百四十九編一節

日本聖公会北海道教区

北海の光749号

札幌聖ミカエル教会
セシリヤ 福富牧子 書



福音と私(二五四)

—心の窓をひらく—
今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

札幌聖ミカエル教会信徒

セシリア 小澤 暢子

【私の好きな聖句】

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

(テサロニケの信徒への手紙一 五章一六節〜一八節)

私のミカエル教会での生活は生まれる前にさかのぼります。もちろん自分自身は覚えていませんが、たくさんの人たちが話してくれます。「祥子ちゃんのお腹から、なかなか出てこなかったんだから。」「ちっちゃい頃は、可愛くてね。」などなど。覚えていないはずがないのに、みんなが話してくれるので、お腹の中にいた頃からのことを覚えていたような錯覚におちいります。母が亡くなったのは、私が小学校高学年の時です。母が教会にいる思い出も私にはそんなにありません。ミカエル教会には母との思い出がた

くさんある方がいらつしゃつて、そんなみなさんに自分のこと同様、母の若い頃からの教会での生活の話をいろいろと聞くので、これもまた覚えていないけれど歌っている姿やオルガンを弾く姿、聖歌隊で指導する姿などがちゃんと私の中にあります。母が亡くなった後も教会があつて、母を知るたくさんの方に囲まれて育つた私は、そのことでさみしいと思うことはほとんどありませんでした。教会が、教会のみなさんがたくさんの愛を私に注いでくださったからです。教会の屋根に上つたり、古い園舎にあつた鐘を鳴らしたり、いろいろないたずらをする私を教会のみなさんは、たつぷりの愛情で包んでくださいました。本当に感謝しています。

小学校教諭として働いて



三〇年以上が過ぎました。やりたいことが仕事になつて、仕事が楽しくて。「そんな人は、なかなかいないんだよ。」とよく言われます。このよう

な道を用意してくださった神様に感謝しています。子どもたちを取り巻く環境は、ずいぶん変わりましたが、子どもたちの根本はあまり変わっていないと感じています。まっすぐな目で私を見ていろいろ話してくれます。高学年の子どもたちを持つことが多いのですが、これから生きていく中で子どもたちはたくさんの壁におつかります。悩み苦しむこともあると思います。その時に少しでも前を向いていられる大きな原動力は、愛されているという思いなのではないかと思っています。だから「君はかけがえのないひとりなんだよ」ということを、いろいろな形で伝えます。これからも伝えていきます。多分それは、クリスマスチャンである自分だからこそ、たくさんの人に守られ愛されてきた自分だからこそ話せる想いや言葉なんだらうと思つています。教え子たちが神様に守られて成長していくことを願つ

ています。

「日本で開催されるGFSの世界会議に行つておいで」の一言から始まつたGFSとの関わり。そこで出会つたたくさんのリーダーや仲間たち。学校の友だちがほとんどいない私ですが、教会にはたくさんの仲間や家族がいます。その存在がこれまでの私を支えてくれたことは間違いありません。すべてが神様の計画の中にあり、今日まで来ることができたのだと思うと『神様つてすごいなあ』と思つてしまいます。

今回このお話をいただき、聖句は何がいいのだろうか、とても悩みました。育ててもらつた教会のためにできることをやりたいと思う気持ちが大きくなる今、『いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。』(テサロニケの信徒への手紙一 第五章一六節〜一八節)を選びました。

ミカエルに集う子どもたちと一緒に、徐々に聖歌隊の活動を再開していきたいと思つています。子どもたちにとって魅力的な教会であることは、ミカエルのこれからに、北海道

教区のこれからに、希望の光となるのではないかと勝手に思っています。

ここまで育ててもらつたこと、とても感謝していただきます。みんなが、笑顔で集える教会。ミカエルがそんな教会であつてほしいと願ひ、そのために自分ができることをしていきたいと思ひます(したいことはできないのですが...)。そして、それが、亡くなつた母や、育ててもらつた、たくさんの方々への恩返しになるのではないかと思つています。

堅信式受領 おめでとう

苦小牧聖ルカ教会

- ルカ 高橋 賢司
- ソフィア 高橋 奈結子
- マルチン 高橋 郁仁

(二月二四日)

札幌キリスト教会

- エルピス 猪又 菜緒
- シエナのカタリナ 高橋 かなみ

- アイリーン 林 和子
- ポール 高橋 俊行
- ソフィア 高橋 孝子
- ルチア 川那部 悠

(二月二六日)

常置委員会報告 第二回 二月一三日

《協議事項》

- 一、会計監査委員指名の件
- ・候補者二名を選出した。
- 二、常置委員会が選任する各委員長・部長選任の件
- ・所定の委員長と部長の候補者について協議した。
- 三、教区礼拝について
- ・教区礼拝を五月一四日(土)を、実施予定日とすることとした。
- 四、主教接手式について
- ・実行委員会を設置し、委員長の永谷司祭のもと、その他のメンバーを選任した。



主教室より

二月二八日は「聖なる幼子の日」という聖日です。

「聖なる幼子」とは、イエス様が生まれたベツレヘムとその周辺で、ヘロデ王によって殺された二歳以下の男の子たちのことです。私はこの日、札幌キリスト教会の聖餐式に出ました。福音書では、マタイ伝2章にあるこれらの男の子たちの虐殺と母親たちの嘆きが読まれます。「主に感謝」と最後に司祭が唱え、会衆は「主に感謝します」と心えますが、私は「主に感謝します」が言えませんでした。イエス様の身代わりとなって殺された多くの幼子とその母親たちを想つと、とて

もそのようには言えなかつたのです。どうして、これが「感謝」なのかと。

私が主教になる前、東京の管区事務所で総主事をしていた時、私はいろいろな問題で神経をすり減らして落ち込んでいました。日曜日には、東京や周辺の教会での礼拝奉仕があり、説教もしていたのですが、そのような状態では説教などできないと思います。こんな僕に説教はしない。こんな自分で、どうして福音など語れるか」と洩らしたことがありました。その時、妻に言われたのは、「順境の時には誰だって福音は語る。でも、肝心なのは、逆境の時、どのように福音を福音として語れるかであり、あなたはまさにそのた

- 五、教区職員就業規則・給与規定変更の件
- ・規定の一部変更後承認した。
- 六、二〇二二年事務所職員人事の件
- ・出町勇人兄(札幌聖ミカエル教会信徒)を、事務所副主事として採用することを承認した。

めに聖職に召されているのではないか」ということでした。

今金インマヌエル教会では大地がまだ凍りついている時に「種の祝福式」をします。おおよそすべてが死んでいるような中で、その大地にこれからたく種を祝福します。絶望と暗闇の中でも、信徒たちはそこに主の祝福があれば、秋には豊かな収穫があると信じて、「主に感謝」を唱えるのです。

「主に感謝」は、まさに感謝できないような状況の中にあっても、主の祝福の介入があるのだと自分に言い聞かせることではないでしょうか。この新しい年、私たちはいつも「主に感謝」と祈り続けたいものです。

主教 ナタナエル 植松 誠

公 示

救主降生 2021年12月13日
日本聖公会北海道教区
主教 ナタナエル 植松 誠

第81(定期)教区会の決議により、以下のよう、教会の合併をします。
2021年11月23日付で、旭川聖マルコ教会と稚内聖公会を合併し、新教会名を旭川聖マルコ教会とします。
2021年11月23日付で、釧路聖パウロ教会と厚岸聖オーガスチン教会を合併し、新教会名を釧路聖パウロ教会とします。

以下のように、伝道所の設立を認可します。

2021年11月23日付で、北海道教区の伝道所として、稚内聖公会(伝道所)の設立を認可します。なお、司祭クリストファー永谷亮を、同伝道所の管理司祭に任じます。
2021年12月13日付で、釧路聖パウロ教会の伝道所として、厚岸聖オーガスチン教会(伝道所)の設立を認可します。なお、司祭サムエル吉野暁生を、同伝道所の管理司祭に任じます。

以上

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

二月九日(水)

午前二〇時三〇分
於 主教座聖堂

・小樽聖公会、有珠聖公会よりの申請を承認した。

- 七、稚内聖公会、厚岸聖オーガスチン教会に関して
- ・稚内聖公会を北海道教区の伝道所に、厚岸聖オーガスチン教会を釧路聖パウロ教会の伝道所にするを二月一三日付で認可し公示することとした。
- 八、宣教活動協力資金申請の件

- 司 祭 向井山雄 一九一五年二月二〇日
- 司 祭 長澤義正 一九六一年二月二日
- 伝道医師 ウイリアム・ウリス ロイ・コルバン
- 司 祭 田村均 一九七八年二月二六日

次の方々を覚えて祈ります。
執 事 桑山隆 二〇一三年二月二日

- 司 祭 ハリー・W・ハンセン 一九九六年二月八日
- 執 事 細矢勝司 二〇一九年二月九日



▲紋別聖マリヤ教会



▲有珠聖公会



▲留萌キリスト教会



▲網走聖ペテロ教会 クリスマスの祝福



▲平取聖公会



▲札幌キリスト教会 クリスマス礼拝



▲苫小牧聖ルカ教会 主教さんを迎えるXmasイブ礼拝



▲聖マーガレット教会 降誕日聖餐式



▲帯広聖公会 クリスマスイブ礼拝



▲北見聖ヤコブ教会
愛と感謝の内に



▲小樽聖公会降誕日礼拝



▲新札幌聖ニコラス教会 降臨節第4主日礼拝



▲室蘭聖マタイ教会 クリスマス礼拝



▲札幌聖ミカエル教会 クリスマスイブ礼拝・会衆と共に



▲新冠聖フランシス教会 少し早いクリスマス礼拝



▲釧路聖パウロ教会



▲今金インマヌエル教会 今年は一瞬マスクを取りました(笑)



▲旭川聖マルコ教会 クリスマスイブ礼拝



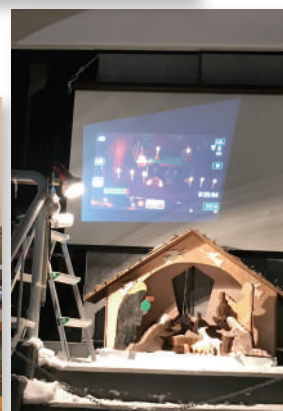
▲岩見沢聖十字教会 主教巡回礼拝



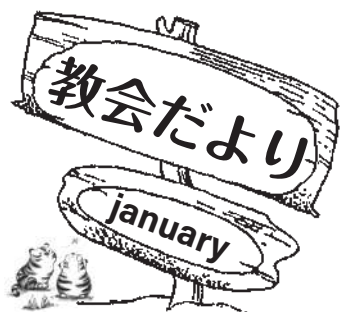
▲稚内聖公会 (伝道所)



▲深川聖三一教会 主のご降誕を祝う信徒たち



▲函館聖ヨハネ教会



▽旭川聖マルコ教会

一九日はクリスマス大礼拝が行われました。また同時間の「こどもクリスマス」では集会室で多くの子どもが集まり楽しいひと時を持ちました。工作したクリスマスツリーを玄関ホールに飾りつけました。その後プレゼントを頂き喜んでいました。また、管理牧師永谷亮司祭から、当教会のバナーをデザインしたキューブチョコをプレゼントして頂きました。感謝!

二六日は越山健蔵司祭(東北教区退職司祭・深川在住)による聖餐式が行われました。出席した信徒達は新たな視点による説教を聞き、良き時を共有しました。

保育園のクリスマス礼拝は、一日に昨年より多くの保護者を迎え行われました。

その後、二部に分けお祝い会も楽しく開催されました。保護者も、我が子の成長を見て感慨もひとしおでした。

▽岩見沢聖十字架教会

二月五日、最後の主教巡回礼拝。多くの方が出席。植松主教と奥様の三千代姉にお花を贈り、記念の集合写真。その後、茶話会。長い間のご奉仕ありがとうございました。

中旬、幼稚園クリスマス会。年長の聖誕劇はどの園児も立派に演じる。保護者も感動。

一九日、降誕日礼拝。園職員も出席して池田亨司祭を通して多くの恵みを受ける。

静かに終えようとする二〇二一年。コロナ禍の中、危ぶまれた東京オリンピックを無事開催。日本の力強さを感じた瞬間。感動ありがとうございました。

▽小樽聖公会

二月一九日に「小樽聖公会クリスマス・ジャズ」が開催され、クリスマスの楽曲を中心にグループあふれるジャズ演奏を楽しみました。参加者の半数は一般の方で、地域と関わるプログラムができて感謝です。

二四日はイブ礼拝、二五日は降誕日礼拝が行われ、祝会が行われない代わりに、教会より皆さんへ、お菓子とコーヒの詰め合わせが、クリスマスプレゼントとして贈られました。今年一年もたくさん祝福とお恵みをいただきました。教会がますます福音宣教のために用いられますように祈ります。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

(伝道所)

師走に入って忙しさが増す中、教区会において厚岸聖オーガスチン教会が正式に釧路聖パウロ教会の伝道所として認可、との報告がありました。当教会の新しい一歩が踏み出されたことになりました。

クリスマス総員礼拝はチョットと早い二月一九日。世界がひとつになるこの日、現在堅信受領者を超える二九名が出席。残念ながらリハビリ中の津田正子姉、ご主人の津田勉兄は入院準備のため出席できませんでしたが、代りに何と、三人の小学生が参加。何よりも力強いクリスマス礼拝になりました。

吉野司祭の「居場所がない」というタイトルのお話は、学校に通う彼らの心にも深く刻まれたことでしょう。

礼拝後、クリスマスセレモニー。今年一年の感謝を分かち合い、写真撮影。新版コロナ礼拝対策、信徒訪問・家庭聖餐などの連絡事項後解散。

今日だけは保育園や教会の建て替え問題など、課題から離れて皆明るい顔でした。

来年も主の大きな恵みを。

▽稚内聖公会(伝道所)

二月二日(水)午前一時からクリスマス礼拝が行われました。教会が伝道所となつてから初めての礼拝とクリスマス。旭川から山崎典美さんと直子さんも来てくださり四名での礼拝。記念撮影後には、ささやかな、そしてとても久しぶりの祝会。食事は出前のお寿司のほか、果物やデザートも。クリスマスのお祝いで楽しい食事と歓談のひとつとかが与えられました。

前日は永谷司祭の乗車予定だった旭川発の特急が運休になるトラブルもありましたが、無事に礼拝に間に合い感謝でした。

▽新冠聖フランシス教会

一二日(降臨節第三主日)は主教さまのご巡回をいただきました。三千代奥さまも一緒にです。そこで、この日の礼拝を「降誕日総員礼拝」としてお献げすることをお許しいただき、みんなで主のご降誕を喜び合いました。一九名の出席でした。でも残念!愛餐会は今年も割愛ということになりました。

二六日(降誕後第一主日)は今年最後の聖餐式です。久しぶりに三石在住の田上未紗さんと、ことねさん・こはるさん姉妹が出席!もう中一と小四ですって、ビックリ!

▽帯広聖公会

四日、ズームでアドヴェントの祈りと黙想の会。五日は聖餐式と教会委員会。帯広聖公会幼稚園から久しぶりのクリスマス祝会の報告がありました。

一九日はクリスマス礼拝、二四日はクリスマスイブ礼拝、二五日は降誕日礼拝が行われました。二六日は年内最後の礼拝・聖餐式です。

二〇二二年はコロナウイルス感染で礼拝に集まれないう期間が長く続きました。

二〇二二年も新しい変異株の動向が気になりますが、新しい主教様を迎え、実り多い年であることを期待します。

▽札幌キリスト教会

一二月四日の教区修養会に引き続き植松功さんが、翌主日に奨励されました。五日、長谷川和奏ちゃん岩見沢にて受洗。GFS例会では映画鑑賞。一二日、金曜ランチ応援活動の小さなお物産屋さん「ヴィオラ・デリ」開店。

二四日、イブは聖劇は中止でしたが、聖歌隊、コルデ・デル・クオーレ、斉藤航さんのバイオリンの音楽奉仕でキャンドルサービスを彩りました。

二五、二六日で川那部悠姉、高橋俊行、孝子夫妻受洗堅信、高橋かなみ姉、林和子姉、猪又菜緒姉が堅信の恵みに与りました。キャンドルサービスには約百名、降誕日の四回の聖餐式には延べ一七〇名の出席があり、クッキーのプレゼントが配られました。

▽札幌聖ミカエル教会

クリスマスは教会暦通りに礼拝を守りました。イブ礼拝は二年ぶりに公開とし、おとな聖歌隊が奉唱。信徒以外の

方々から、事前に今年はどうなるのという問い合わせを多数いただき、実際、多くの出席があり感謝。降誕日は午前中二回の聖餐式を守る。幼稚園は一七日、礼拝と聖誕劇、日曜学校は一九日にクリスマス礼拝を行う。大晦日の深夜、植松主教様による最後の礼拝司式と三千代さんの奏楽で新年を迎える。長い間ありがとうございました。

ルシア石田静子さんは二五日降誕日の午後、入居中の施設でご家族に見守られご逝去、九〇歳でした。天における祝福と平安をお祈りします。

▽新札幌聖ニコラス教会

一九日は降臨節最後の主日礼拝を総員礼拝としてお捧げする。コロナ禍以来一年半ぶりに酒井姉の出席もあり、みんなで記念撮影を済ませる。少し早めのサンタクロースからは祈祷書カバーとクッキーのプレゼント。二四日は昨年集合を断念したイブ礼拝をオンライン併用で実施する。

二八日、トマス荒木道郎兄が急逝。教区神学生養成や教会委員、教会の記録用写真アル

バム作成、教友の訪問など多くの働きに感謝。

▽苫小牧聖ルカ教会

オンコの枝に、有志四名により礼拝堂周辺に取り付けられた電飾が、一二月の聖ルカ教会を装いました。

松井司祭による当地での初めてのクリスマス、鉦路へ行った二匹の黒猫の居た窓辺には、今黒いワンコのぬいぐるみが座っています。

二四日、高橋賢司さん、奈結子ちゃん、郁仁ちゃんが堅信式を受けられました。

イブ礼拝は、植松主教様の最後の巡回日、礼拝終了後感謝のひと時を持ちました。

▽函館聖ヨハネ教会

コロナ下火により、本州からの来訪者が急増。一九日は礼拝の中で、S. S. の聖劇が行われる。年長のひまりちゃんが、冒頭で五分にも及ぶ預言者の長セリフ。休んだ子どもの分まで二役をやり遂げる。圧巻。二四、二五日は午後からテントでセントジョーンズ・バーを開店。濡れたタオルも凍る中、市民や観光客がホットワインで暖まりクリスマス喜びを分かち合っ

た。夕方、キャンドルサービスが時短で行われる。礼拝の様子は外に設置したスクリーンにも映して密を避ける。様子は道新地方版に掲載された。一九日マリヤ山本芳子姉が天に召される。

▽平取聖公会

バチラー保育園のクリスマスお祝い会は一日に年少さん二クラス、一八日に年長・年中さん三クラスに分けて行われました。サンタさんは他へ出張中でしたが、プレゼントを預かりました。二三日夕、「父母の会」への「園舎建て替え」計画の説明会。二四日午前、園児全員が教会礼拝堂にてクリスマス礼拝をお献げしました。

一二日(降臨節第三主日)は主教さまと奥さまがお出でくださり、礼拝後には久し振りにお茶の時間に。一九日は「降誕日総員礼拝」でした。

▽紋別聖マリヤ教会

一二月一九日植松主教様司式で降誕日礼拝を行いました。三千代夫人、幼稚園から千葉先生とご子息、折目先生、桜田先生ご夫妻、鉦路から鳴海園長が参加、感謝と賛美を

献げました。その後愛餐会を行い楽しいひと時を過ごしました。桜田先生は四月に赴任、日那さんは何と紋別幼稚園に在籍したことがあり、当時の写真を見せていただくことと七月に退職した美帆先生(園児)、若き日の折目先生が写っていました。神様はみえない糸で桜田先生を派遣してくださいました。神様はどこでだれを通してみ業を行うかわかりません。後で気づくことがいっぱいあるでしょう。幼稚園でもクリスマス礼拝、終業式が続きました。三学期に元気で会えますように!

▽有珠聖公会

教会参道の街路灯と、教会堂・歌碑のライトアップ工事の完了を受け、一二月一八日の夕刻、点灯式が有珠聖公会と伊達市観光との共催で行われました。札幌よりバイオリンストの斉藤航さんを迎えてのセレモニーには、八〇名を超す方々が集いました。一九日の午後、クリスマス礼拝。三〇名余の会衆でキャンドルサービス・聖餐式を捧げました。礼拝後、賑やかにお茶会を楽しみました。二四日の

夕、信徒でクリスマスイブの集いが持たれ聖夜を過ごししました。

▽留萌キリスト教会

八日、木村司祭は深川友の会クリスマス礼拝のご奉仕を、教団留萌宮園教会を会場に三浦牧師の協力を得てリモートで行いました。

一九日、同教会に通う子どもたちがクリスマスのお菓子をもらいに聖公会を来訪し、祭壇前でキャロルを一つ賛美。

当教会のイブ、降誕日は大雪の影響もあり、とても小さな集いになりましたが、貧しい場所にお宿りくださる救いの誕生に感謝を感じました。

二六日、土門さん宅を訪問し、聖餐と笑顔がほころぶ交わりの時が持てました。

▽室蘭聖マタイ教会

室蘭としては日中でもマイナスが続きます。

一二月一二日、苦小牧の松井司祭で聖餐を受ける。その後クリスマスツリー、リースを飾る。落合姉も来られ手伝ってください。

一九日、札幌の大町司祭夫人、出町兄(サーバー)が

来られ、聖餐式が守られる。

二五日、松井司祭でクリスマス礼拝、栄あるイエス様の御誕生を祝う。その後簡単なオスシ、有志の方々のケーキ、菓子を美味しく頂く。苦小牧の高橋ご一家も来られ、共に祈る。感謝。

▽北見聖ヤコブ教会

窓の雪囲いをし台所が暗くなるのですが、春に取り外し明るくなる素敵なドラマが待っています。一九日に行われたクリスマス礼拝には数年ぶりの方も見えて一五名で感謝と賛美が捧げられ、茶菓の交わりとプレゼント交換で楽しい時を過ごしました。教会も二階の牧師館も「水落とし」

は二ヶ月以上前からしっかりとしているのですが、牧師館の浴室の蛇口と温度調整の所が凍結し飛んでしまい、業者に来ていただきました。「今日で良かった。明日から休みさ」に主の助けを感じました。

今年も降臨節に入り、一二日と二六日に礼拝が守られました。一二月は風雪が強く、境内地があつという間に覆われてしまいます。でも今年は大

型作業機の妨げになつていた大木伐採等でスムーズに除雪出来るようになったのも、ご協力くださった皆様と導きくださった神様のお陰と感謝致します。そして降誕日礼拝はキャンドルの下行われ、視力の衰えを思い知らされたと同時に厳肅な時を分かち合えました。また久しぶりの祝いで皆様の笑顔に出会えた喜びは、何にも代え難いものでした。

▽聖マーガレット教会
一二月二五日(土)、降誕日。この喜びの日、植松誠主教様の巡回日、御伴侶三千代さんも出席。主教様は説教の中で、こどものころ見て忘れ得ぬ紙芝居、トルストイ原作の「靴屋のマルチン」に言及。主のご降誕の意味、その福音を語ってください。聖餐式後、主教様夫妻より挨拶をいただき。教会から感謝のしるしとして花束を贈呈。ここに残るクリスマスとなる。

▽網走聖ヘテロ教会

今年も宣教一三〇年ということで、記念礼拝も終え残された事業を継続しています。二四日の夜は恒例のイブ・キャンドル礼拝。キャンドルの光のもとでの幻想的な礼拝でした。二五日の降誕日礼拝の後の祝会の際には、プレゼント交換も行われ、主のご降誕をお祝いいたしました。二六日の礼拝には旅行中の方も見えて大変感謝でした。二八日には教会駐車場の除排雪がなされました。

信徒の少ない小さな群れを主は守り、導いてくださっています。

▽深川聖三一教会
一二月保育園光の子の礼拝。五日、教会報と選挙用紙を全員で発送。九日、保育園職員会議、園内研修、インフルエンザA型について紺野保育士による指導あり。一日、保育園のクリスマスお祝い会、衛生上三回に分けて園見別で歌、おどり、劇等を演出、大成。サンタさんは三回登場しました。トナカイさんも疲れたと息を切らせておりました。一五日、光の子の

礼拝の教話で四人の子に雪のクリスマス・ケーキを作ってもらう。二二日、同所クリスマス礼拝、父兄の献金をキリスト教海外医療協力会へ贈る。二六日、教会役員選挙。

今年の「聖歌」について
司祭 グレゴリー 松井 新世
今年のみ言葉の詩編は一四六編から一五〇編までの「ハレルヤ詩編」の一つに数えられ、最初と最後にハレルヤ(主を讃美せよ)という言葉が置かれています。
詩人は、主が救いの御業をなし、自分たちの前におられることを感じています。主が救いの御業をなして下さる。その主に応えて、わたしたちも主の御前に立とうと呼びかけています。
今年の聖歌は三三三番「すべてのみたまよ」です。この聖歌はジョン・キーブル(一七九二—一八六六)という聖歌を聖公会の礼拝に深く結びつける役割を果たした司祭の作とされており、この曲は、英国の戴冠式などでも使用されます。最近ではエリザベス女王とフィリップ殿下のダイヤモンド婚で使用されました。プロテスタント諸教会でも親しまれている曲です。「すべての民」が声高らかに主をほめたたえる。新しい主様を頂く年、これまで以上に、神を賛美し続ける群れでありたいと思います。